



佐土原ロータリークラブ週報



会 長：佐藤 高元 **幹 事**：太田 忍
副 会 長：梶田與之助 **会報委員長**：林 厚雄
会 計：村岡 博
事 務 局：〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
 携帯：090-9596-6114 吉野由里子
例 会 日：毎週水曜日
例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
 TEL：0985-73-0109

10月25日プログラム予定・・・
 11月1日プログラム予定・・・

夜間例会「大光寺にて」
 会員卓話（藤堂孝一君）

第948回 平成18年10月18日（水）

- 本日のプログラム
- 1. 点 鐘
 - 2. ロータリーソング
「奉仕の理想」
 - 3. 会長の時間
 - 4. 幹事報告
 - 5. 職場訪問
 - 6. 点 鐘

第947回の記録

★ 会長の時間
皆さん今日は、朝夕はすっかり涼しくなりました。どこかで桜の花が咲いていると言うニュースがながれていました。

10月は職業奉仕月間です。

「職業奉仕をどのようにとらえているか。」については、色々な説明の仕方が出てくると思います。

最も簡潔な言い方をすれば、「職業を通じて社会に貢献すること。」であり、そのためには自らの職業（職場）に誇りを持ち、正直かつ、品位ある方法で職業を実践することが求められます。

平成18年10月11日
佐藤 高元 君



ロータリーの必携には、次のように述べられています。「職業奉仕の考え方は、他の奉仕団体には無い。ロータリーならではの特徴でロータリーの金看板と言ってもいいのです。言い換えればロータリーのロータリーたる所以はこの職業奉仕にあるといえます。」もともと、ロータリーの始まりは、ポールハリスと3人の友人による友情とお互いのビジネスの発展を願って始まったことですから、職業奉仕がロータリーの中心的役割を果たすことは当然の事と言えます。

ロータリーの友10月号には、先ずRI会長の四つのテストについてのメッセージが掲載されています。その中でRI会長は世界中で話題となりニクソン政権破壊につながった「ウォーターゲート事件」と四つのテストの関係について事件当時ニクソン大統領の法律顧問であったジョンWディーン三世のロータリー大会における次のような演説を紹介しています。・・・反論を恐れず皆さんに申し上げます。ニクソン政権のもとでウォーターゲート事件にかかわりを持った私たちは、四つのテストを適用するために立ち止まる事はありませんでした。時々でも、是と照らしていたらウォーターゲート事件は起こり得なかったでしょう。端的に言って四つのテストは役立ちます。私たちが、ただそれぞれに照らそうと言う気持ちがあれば、四つのテストはどんな問題にでも役立つのです。・・・四つのテストが如何に大切なものであるか、なぜ金看板といわれるのか、この演説からだけでも十分納得することが出来ます。

10月号には、四つのテストについての詳しい解説がしてあります。経営者としてどのようにあるべきかを含めて参考になるとと思います。

（裏に続く）

もう一つ、職業奉仕を実践した志摩ロータリークラブの宝門孝雄さんが「役に立った四つのテスト」という体験記録を書いています。

宝門さんは一般廃棄物収集運搬業を営んでいます。ちょっとしたトラブルが発生しましたが、調査の結果すべて公正・正当であることが証明されました。協議会の席上、宝門さんは、私はロータリアンであること。ロータリーには四つのテストがあること。それによって常に自分の行動を評価していること。などを話しました。

参加者は深く納得し、協議会の誤解も解けて市民に信頼される業界であることを皆で誓い合って散会となったそうです。宝門さんは最後に・・・今回のことで、17年ロータリーで学んだことが実践できロータリアンとしての自覚と共にこれからも日々精進し「四つのテスト」と共に正道を歩んで行きたいと思えます・・・と述べています。

職業奉仕は自らの姿勢を正すことから始まり、信頼と友情に支えられた公正・公平な事業を実践することにあります。この記事を読みながら、宝門さんの職業奉仕についての考え方、実践に頭が下がる思いでした。

★ 幹事報告 太田 忍 君
訃報・・・宮崎北ロータリークラブ岩下哲夫会員の奥様（岩下米子様79歳）がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

◎例会変更のお知らせ

延岡ロータリークラブ

※日時 平成 18 年 10月25日(水) 12時より

※場所 吉玉製鋼(株)

当クラブの変更のお知らせ・・・10月25日(水)の例会は、大光寺にての夜間例会といたします。詳細は事務局を通して連絡致します。

☆ 例会訪問とお願い。

ガバナー補佐 大迫三郎氏

新年度も、会長はじめ幹事さん、他それぞれの委員長、各委員の生き活きた運営で、早くも3ヶ月経過に至り錦秋を迎えます。

年初の計画が順調に進み稔りの期待が愈々ふくらんでいることと存じます。さて、ロータリー活動はともすると関係者の一部丈で、実行は勿論、その経過すら認識されないケースがあります。佐土原クラブは全員参加の活動されている事・敬服いたします。

ガバナー補佐になって改めて、各事業の意義・目的・方法について考えさせられます。実行は担当がするにしても、せめて全会員がその目的と行動について確認と思索を行い、等しく見守り、共通の立場でとらえたいものだと存じます。

その事も合わせて、特に中部分区の行事への参加とご協力をお願いすると共に、下記のイベントの周知をする為にお伺いいたしました。

「中略させていただきます」すべての原点は行動からと言われます。富永ガバナーは「行学一如」の心構えを説いて居られます。身をもって実行したく存じます。



大迫ガバナー補佐

～ MEMO ～

出席状況 第944回 平成18年9月13日

会員数	30名	欠席者数	7名
出席者数	23名	メイクアップ	3名
出席率	79.0%	修正出席率	86.0%

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか